

2010年成田に新しい

## 医科大学構想を提案しました。

**1** 「新型インフルエンザその実態と今後の備え」  
講演会を主催しました。 2009年9月

**2** 地域の医療とメディカルツーリズム  
「成田医療ハブ構想」を考える  
シンポジウムを主催しました。 2010年2月

**3** 「国際都市成田の将来と新しい医科大学構想」  
シンポジウムを主催しました。 2010年10月

2015年実現しました。

国家戦略特区として成田に  
医学部新設が認められました。

2017年実現しました。

国際医療福祉大学  
医学部が開学されました。

2020年未来の成田に向けて

新型コロナウィルス感染症を受けて日本最大の  
国際空港を有する成田にコロナ等、国際感染症に特化した  
保健所機能新設  
を提案しています。

## うつのみや高明さんに期待します

今回のコロナ騒動をはじめ新型ウィルス大中国から最も近い場所、最前線に立つのは国際空港を有する成田です。成田に国際感染症を核とした保健所機能の設置は是非とも必要です。2009年より医学部新設のために共に活動をした宇都宮さんにこれからも期待しています。

上 昌広（写真右）  
医療ガバナンス研究所理事長  
前東京大学医学部医学研究所特任教授



## うつのみや高明の「略歴」と「現在の活動」

## 略歴

- ▷ 昭和21年12月生 愛媛県西予市明浜町出身
- ▷ 中央大学卒業後、新東京国際空港公団へ入社
- ▷ 日本・メキシコ政府交換留学生として約1年間メキシコに留学
- ▷ 新東京国際空港公団労働組合委員長
- ▷ 日本青年会議所千葉ブロック会員大会委員長
- ▷ 成田市議会議長（第30代・第36代）
- ▷ 千葉県市議会議長会会長 関東市議会議長会副会長（成田市議会で初めての就任でした）

## 現在の活動

- 成田市議会議員（9期） ○千葉県地方議員連絡協議会会長代理 ○自治体学会議員研究ネットワーク幹事
- 花と緑の農芸財団理事 ○成田ユネスコ協会副会長
- 成田ニュータウン自治会連合会副会長 ○成田ニュータウンスポーツ連盟事務局長 ○中央大学北総白門会会长 ○成田コスモポリタンロータリークラブ会員 ○構想日本会員

## — うつのみや高明 後援会 —

〒286-0037 千葉県成田市橋賀台2-4-1  
TEL.0476-26-2620 FAX.0476-26-2517  
E-mail:0220@t-utsunomiya.jp URL:<https://t-utsunomiya.jp>



活動日記はこちら

さらなる提案！

コロナ等、  
国際感染症に  
特化した  
保健所機能を  
成田に。

**Q** 成田ニュータウン加良部に設置されている  
千葉県印旛保健所成田支所で対応できないのですか？

保健所業務は、感染症をはじめ飲食店等の営業許可・停止、がん検診、生活習慣病予防等々、多岐にわたっています。

**A** 一方、成田空港は年間旅客数7500万人にむけて機能強化が進められています。この日本最大の国際空港の国際感染症対策は、現在の成田支所では大変不十分です。そこで、空港圏に国際感染症だけの保健所機能新設を提案しているのです。

\*保健所は地域保健法に基づき設置できる自治体が決められており、人口13万人の成田市が単独で設置することは難しいのです。



成田市議会議員  
**うつのみや高明**  
たか あき



# 成田山開基1100年(西暦2038年)を見据えての成田の創造

01

## 安心して暮らせる 成田づくり

- ▶ 成田ニュータウン再生のための「なりた団地再生共同事業体」の設立
- ▶ 地域包括ケアシステム等地域福祉の充実
- ▶ 子ども・子育て支援事業の着実な実施
- ▶ メジャー大会も開催できるスポーツ施設の整備
- ▶ 食の安全と自給率向上にむけて農の再生

03

## 多様な「ものの見方・考え方」 が出来る人材づくり

- ▶ 教師の待遇改善と教師力の向上（海外留学は教師の必須科目）
- ▶ インターナショナルスクール誘致の推進
- ▶ 在住外国人と共生するための人材育成
- ▶ 教育費に占める公的支援の拡充



02

## 新しい成田空港を活用した 国際空港都市づくり

- ▶ 空港の更なる機能強化・リニューアルの推進
- ▶ 空港機能強化に伴う騒音対策の拡充
- ▶ コロナ等の保健所機能として「千葉県衛生研究所成田センター（仮称）」新設
- ▶ 新生成田市場周辺に自由貿易地域の整備
- ▶ 成田空港と東京を結ぶ鉄道路線単線区間の複線化の早期実現
- ▶ 国内外の災害・人道支援に対応できる防災拠点の充実

04

## 地域を担う 地方自治づくり

- ▶ 政策立案機能のより一層の強化（大学との提携、職員の出向研修や外部人材の登用）
- ▶ 少子化・高齢化を見据えての地方財政の検証
- ▶ 行政業務の民間活用の検討
- ▶ 地方公職選挙法の研究



空港づくりは地域づくり

私は、元新東京国際空港公団（現成田国際空港株式会社）職員として約8年間、用地交渉に携わりました。住み慣れた土地を離れるを得なかった地権者の方々の心情等々、これらの交渉の中での学びが私の政治に取組む原点です。

成田空港は、今回のコロナをはじめ、この地域の生活のすべてに大きな影響を与え続けています。直接空港建設・運用にかかわった者として、「空港づくりは地域づくり」を着実に進めていくことが、私の使命であるとの思いでこれまで活動してまいりました。今、更なる機能強化により空港敷地2300ha（現在1200ha）を目指している新空港の地域に与える影響はより大きくなることを考える時、一層の努力をしなければと思っています。

今後とも、ご指導ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

宇都宮高明

美しい地球を  
子どもたちに  
この大地は祖先から  
譲り受けたのではなく  
子孫から借り受け  
ているものである



日本は政府の歳出に占める公的教育費の割合はOECD加盟国のうち有効データ37カ国中36位のワースト2位

※メキシコ留学時に学んだネイティブアメリカンの考え方